

## 第4回 地域づくりビジョン審議会 議事録（発言内容まとめ）

・日時：令和5年3月27日（月）  
19時00分～20時10分  
・場所：問寒別生涯学習センター

### [出席者(敬称略)]

#### 審議会委員

阿部 由裕／遠藤 雅樹／大内 寿晃／坂本 太一／高木 健太郎／  
糠 由季／橋元 誠／森崎 英典／芳野 福一／

#### オブザーバーその他

（株）まちづくり計画設計 松村 博文  
（地独）北海道立総合研究機構 石井 旭  
エスエーデザインオフィス一級建築士事務所 小倉 寛征（リモート参加）  
事務局（幌延町役場）

[傍聴人数] 3名

- 1 開会挨拶（副委員長）
- 2 配付資料の確認及び本日の流れについて（事務局）
- 3 地域づくりビジョン原案について（まち計松村氏）
- 4 野々村町長挨拶
- 5 今後の流れについて（事務局）
- 6 閉会挨拶（副委員長）

### 1. 開会挨拶（副委員長）

皆様、本日もお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。  
早速ですが、第4回幌延町地域づくりビジョン審議会を始めたいと思います。

## 2. 配付資料の確認及び本日の流れについて（事務局）

本日もお集まりいただき、誠にありがとうございます。

私の方からは、お配りした資料の確認と、改めてこれまでのおさらいと、本日の流れについて御説明いたします。

～配付資料を確認～

今回までの審議会では、地域団体、事業者、学識者など、地域を構成する様々な立場の方からなる委員の皆様からいただいた意見や現時点の課題等を反映する形でビジョンの素案をまとめ、その後審議会での協議の内容を踏まえた原案を前回の第3回審議会でお配りしました。素案から原案へと移行した際、ボリュームのあるビジョン「本編」が新たに追加されましたので、最大限皆様からの意見をいただく期間を設け、より良いビジョンを目指していくために、もともとの予定であった全3回というスケジュールを延長させていただきたい、ということで本日、第4回としてお集まりいただいた次第です。

前回の審議会において、最終的なビジョンへのご意見につきましては、欠席の委員も含めまして「ご意見記入表」のご提出をお願いしておりました。

そして本日は、いただいたご意見のもと修正を加えた原案の最新版をお配りしましたので、まちづくり計画設計の松村様から要点についてご説明いただいた上で、委員の皆様にお諮りしていく予定でございます。

事務局からのご説明は以上です。

## 3. 地域づくりビジョン原案について（まちづくり計画設計 松村氏）

【配付したビジョンについてのご説明】

前回の審議会の中で、ビジョンの概要編と本編の素案についてご説明させていただきました。その後、意見をいただきたいということをお伝えしたところで、配付した資料（地域づくりビジョン審議会 委員 ビジョン・将来像意見収集）がいただいたご意見をまとめたものとなります。

ビジョンにつきましては、概要版を見ていただきたいのですが、構成としましては、問寒別の現状、そこから見えてくる課題、そして何をやらなければいけないかという基本計画・重点プロジェクト、それと基本計画をどういう形で進めていくかという方策、というのが大きな骨子になっています。そして、それらを含めて目指すべき方向性として「輝く将来像」というのを決めていくこととなります。

～各委員からいただいた意見を資料に沿って紹介～

いただいた意見の一つ一つは、ビジョンの現状課題の部分と基本計画として重要な項目として含まれていると考えています。また、具体的な取り組みに関するご意見については、来年度以降、重点施策をやっていく上で参考とさせていただきたいと思っております。

【将来像の決定について】

- ・松村氏：本日は前回までに絞り込んだ将来像3案から決めていければと思う。
  - ① “楽しい” が人をつなげる といかん暮らしの実現
  - ②ひとがよい 小さいのがよい 自然がよい 住み心地が良い といかんをあしたにつなぐ
  - ③田舎だからこそ、有るものを活かそう！工夫と協働のといかん
  
- ・委員A：事前に票を入れているので、客観的に評価できない。最後の疑問形の意図は？
  - 事務局：問い掛ける疑問形、何も無いけど、どうよくしていけるのか？
- ・委員B：将来像を決める目的がはっきりしていないので、決めきれない。疑問形で幅を持たせておくのがいいのではないか。疑問形にして幅を持たせるのがいいのではないか。直近の本音トークでも言ったが、どれもよいから決められないから、絞るのではなく、全部ダメなわけではないので、3案で絞るのは厳しい。将来像の目的、役割で具体性をおびる必要があるのかわからない。
  - 松村氏：基本計画はいろいろ柔軟に変わっていくもの。将来像はみんなの道しるべとして、大きな意味での希望の部分。
- ・副委員長：各委員さんが今どう考えているのかを聞きたい
- ・委員A：3を選んだ、消去法。楽しいばかりではすまない、ひとがよいも消去。工夫と協働が一番しっくり無難に感じた。
- ・委員C：3案にピンと来なかった。多数決でいいのでは。よほど反対がないのであれば。将来像の活用でなら短い方がいいのでは。将来像で何かが決まるわけではないので、多数決でいいのでは。
- ・委員B：委員Cと同意見。どれも間違いではないが、問寒別ではなくてもどこにでも言えること。無限に言える抽象的なことでいいのか…。じゃ、問寒別はこれというものではない。多数決でいいのでは。
- ・委員D：何かと何かに変えるとか。「あした」を何かとか入れ替える。将来像を決めるのは難しい。ニュアンスを変えるなど。
- ・委員E：②がいいと思っている。今日決めるのであれば、事前に投票した17人の意見を重んじるのが良いのでは。今日の参加は9人だし。
- ・委員F：①だった。楽しいことが好き、苦勞を楽しむがモットー。ニュアンスを少しずつ変えるのもよいのではないか。磨きをかけていく。
- ・委員G：①だった。決め方は多数決でいいのではないか。本音トークでも言ったが、時間が経つと変わるから、気持ちが変わったときに新しいもの

に変えてもよいのではないか。そういう意見が出れば変えればいいのではないか…

- ・委員H：②にした。将来像としては長いかな。③の「協働」が入っててそこがいいかなと③に変更。

※事前に意見が確認できた委員17名のうち、当日出席した委員による投票先の変更も踏まえ、最多得票である「③田舎だからこそ、有るものを活かそう！工夫と協働のといかん」をベースに検討することに

- ・副委員長：③が最多だったので、これでもよいか？  
→一同：よい
- ・松村氏：フレーズの修正についてはいかがでしょうか。できればそこも含めてこの場で決めさせていただければと思っているのですが。  
→委員A：多数決を反映させるので、なるべく原文のままがよいのではないか。  
・副委員長：修正は行わず、原文のままでよろしいか？  
→一同：よい

#### 【その他】

- ・委員A：ビジョン本編の80Pには今日の審議会についてのまとめが加えられて、最終版となる形か？  
→松村氏：そのとおりです。

#### 4. 本審議会の審議結果について（副委員長）

この後、軽微(けいび)な修正については、事務局に一任し、委員の招集は行わず、後日、副委員長が代表して町長に答申を行う形にさせていただきたいが、ご異議のある方はいらっしゃいますか？

無いようですので、委員皆さんを代表して後日私が答申をさせていただきます。

#### 5. 野々村町長挨拶

皆様こんばんは。本日お集まりの皆様におかれましては、何かとお忙しい中、審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、本日ご欠席の方を含め、委員・オブザーバーの皆様には、昨年7月のご就任以来、ビジョンの策定のために継続的な議論と、住民懇談会等への積極的なご参加をいただきましたことを、厚く御礼申し上げます。

第1回の審議会の方でも申し上げましたが、全国的に人口減少や、少子高齢化などの傾向が強くなる中、特に地方の集落を取り巻く環境は厳しさを増しており、幌

延町においても、それは例外ではありません。今年度から地域対策室を立ち上げ、ここ問寒別地域をモデル地区として、より一層、集落対策に力を入れてまいりましたが、先ほどの人口減少の問題や、コロナ禍で止まっていた地域活動の再開など、課題は山積しているため、継続的な取り組みが必要であると感じております。住民がいなくなり、地域が無くなれば、幌延町も無くなります。

我々が暮らすこの地域を、次の世代に繋いでいけるかどうか、現在私たちは重要な分岐点に立っています。こうした待ったなしの状況の中で、実効性が高く、具体的な取り組みへと進んでいくための「地域づくりビジョン」という指針が作られたことは、将来にわたっていつまでも暮らし続けられる持続的な地域集落づくりにとって非常に大きな意味を持ちます。

結びになりますが、ビジョンの策定にあたり貴重な御意見や御提言をくださいました審議会委員並びにオブザーバーなど関係者の皆様に厚くお礼申し上げますとともに、本町の持続的発展に一層の御理解を賜りますようお願いいたします。本日はありがとうございました。

## 6. 今後の流れについて（事務局）

令和4年度、4回の審議会を行い、無事、地域づくりビジョンの策定を進めることができ、完成の目途が立ったと思ひまして、皆様のご協力に心から感謝しております。令和4年度はビジョンを作るということで大きな成果を上げることができたかなと思ひますけれども、こういうビジョンを作るという性格上、会議の形をとりまして、順次進めてきたわけなんですけれども、令和5年度は、この完成したビジョンに対して、どのように取り組んでいくのか、進めていくのかという、次の段階に入っていくこととなりますので、次年度以降もまた皆様に、この審議会の委員としてご協力いただきまして、進めていきたいと考えております。

次回以降は、策定が終わりましたので、また新たな形でと言いますか、会議の形だけではなく、研修のスタイルであったりとか、色々な実例をご紹介するような形で、また広く皆様のご意見をいただいきたいと思っておりますので、引き続き皆様のご協力を賜ればと思っております。本日はありがとうございました。

## 7. 閉会挨拶（芳野副委員長）

ビジョンの策定はできたわけですが、この後具体的にどうしていくのかということで、また地域の皆さんと共に、また町長はじめ、たくさんの皆さんと共に、地域をどう守っていくのか、どう引き継いでいくのが大事だと思います。今後とも、どうぞ皆様ご協力の程お願いいたします。

本日は長時間にわたりお疲れさまでした。以上をもちまして、本日の審議会を終了いたします。